

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| 商品分類 | 追加型投信／国内／資産複合 | |
|--------|---|--|
| 信託期間 | 無期限（2001年2月28日設定） | |
| 運用方針 | 日本株式マザーファンド受益証券に信託財産の純資産総額の20%程度を投資します。組入資産の価格変動に伴う投資比率の見直しは、原則として月1回行うものとし、株式への実質投資比率を20%±2%程度の範囲内とします。残りの部分は、日本債券マザーファンド受益証券および日本短期債券マザーファンド受益証券へ投資します。これら2本のマザーファンド受益証券間の投資比率については、金利情勢等を勘案して機動的に変動させます。 | |
| 主要運用対象 | ベビーファンド | 日本株式マザーファンド受益証券、日本債券マザーファンド受益証券および日本短期債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。 |
| | 日本株式マザーファンド | わが国の株式を主要投資対象とします。 |
| | 日本債券マザーファンド | わが国の公社債を主要投資対象とします。 |
| | 日本短期債券マザーファンド | わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。 |
| 主な組入制限 | ベビーファンド | 株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資は行いません。 |
| | 日本株式マザーファンド | 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。 |
| | 日本債券マザーファンド | 外貨建資産への投資は行いません。 |
| | 日本短期債券マザーファンド | 外貨建資産への投資は行いません。 |
| 分配方針 | 経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000円当たり）を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 | |

運用報告書（全体版）

三菱UFJ
国内バランス20

愛称：夢列島20

第24期（決算日：2025年2月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「三菱UFJ 国内バランス20」は、去る2月27日に第24期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配落) | 標準価額 | | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 純資産額 |
|-----------------|---------------|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| | | 税金分配 | 積み金 | 期騰落中率 | | | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | % | % | 百万円 | |
| 20期(2021年3月1日) | 10,919 | 300 | 4.7 | 20.3 | — | 75.8 | — | 2,360 | |
| 21期(2022年2月28日) | 10,736 | 0 | △1.7 | 19.1 | — | 78.4 | — | 2,177 | |
| 22期(2023年2月27日) | 10,454 | 0 | △2.6 | 19.5 | — | 77.4 | — | 2,028 | |
| 23期(2024年2月27日) | 10,913 | 50 | 4.9 | 20.8 | — | 76.3 | — | 1,863 | |
| 24期(2025年2月27日) | 10,616 | 0 | △2.7 | 19.1 | — | 78.3 | — | 1,673 | |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 円 | 騰 落 率 | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 | 債 組 入 比 率 | 債 先 物 比 率 |
|---------------------|--------------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | % | % | % | % | % |
| (期 首) 2024年2月27日 | 10,913 | — | 20.8 | — | 76.3 | — |
| 2月末 | 10,897 | △0.1 | 20.9 | — | 76.3 | — |
| 3月末 | 10,964 | 0.5 | 19.9 | — | 77.0 | — |
| 4月末 | 10,834 | △0.7 | 18.9 | — | 77.5 | — |
| 5月末 | 10,811 | △0.9 | 20.1 | — | 76.1 | — |
| 6月末 | 10,869 | △0.4 | 19.7 | — | 78.5 | — |
| 7月末 | 10,814 | △0.9 | 19.0 | — | 78.7 | — |
| 8月末 | 10,795 | △1.1 | 18.9 | — | 78.5 | — |
| 9月末 | 10,768 | △1.3 | 18.9 | — | 77.9 | — |
| 10月末 | 10,796 | △1.1 | 19.9 | — | 78.0 | — |
| 11月末 | 10,748 | △1.5 | 19.7 | — | 78.3 | — |
| 12月末 | 10,818 | △0.9 | 20.0 | — | 77.4 | — |
| 2025年1月末 | 10,740 | △1.6 | 19.4 | — | 77.3 | — |
| (期 末) 2025年2月27日 | 10,616 | △2.7 | 19.1 | — | 78.3 | — |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

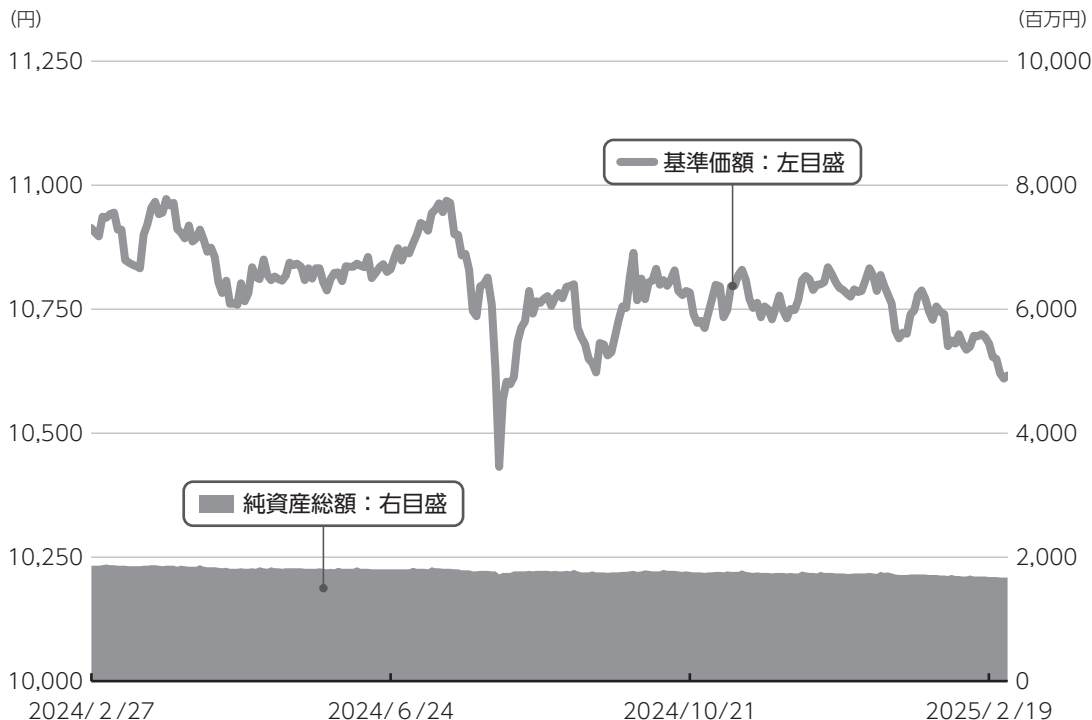
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第24期：2024年2月28日～2025年2月27日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



| | |
|-------|---------|
| 第24期首 | 10,913円 |
| 第24期末 | 10,616円 |
| 既払分配金 | 0円 |
| 騰落率 | -2.7% |

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.7%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

国内債券の下落がマイナスに影響しました。米国で労働市場の引き締めなどにより物価の鈍化が緩慢となるなか、本邦消費者物価指数（CPI）の上昇率は、日本銀行の目標である前年比2.0%を上回る水準で推移しました。2024年3月には、日本銀行は2016年2月から続いていたマイナス金利政策を解除し、17年ぶりの利上げを実施しました。その後、堅調な米国景気を背景に円安・米ドル高進行が続き、本邦CPIの上昇率が加速したことから、7月に追加利上げと長期国債買入の減額方針が発表されました。さらに、2025年1月には追加利上げが行われ、期間を通じて市場参加者からの金融政策正常化期待が高まりました。この影響により、国内長期金利は期間の初めから期間末にかけ上昇を続け、国内債券の価格下落を招きました。

基準価額の変動要因の内訳は以下の通りです。

内訳

| | |
|---------------|---------|
| 日本株式マザーファンド | △0.0%程度 |
| 日本債券マザーファンド | △1.4%程度 |
| 日本短期債券マザーファンド | △0.2%程度 |
| その他（信託報酬等） | △1.1%程度 |

第24期：2024年2月28日～2025年2月27日

投資環境について

▶ 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

期間の初めから2024年7月上旬にかけては、半導体関連企業の業績拡大期待の高まりや、外国為替市場で円安・米ドル高が進行したことなどを背景に上昇しました。

7月中旬から8月中旬にかけては、米国で景気後退懸念が高まったことに加え、外国為替市場で円高・米ドル安が急速に進行したことなどから国内株式市況は一時大きく下落しましたが、米国で景気の堅調さを示す経済指標が確認されたことや2024年4～6月期の国内企業決算が概ね堅調であったことから過度な懸念が払拭され、回復基調をたどりました。

8月下旬から期間末にかけては、為替市場で円安・米ドル高となったことなどが国内株式市況の下支えとなったものの、衆議院選挙の結果を受けた国内の政治に対する懸念や米大統領選挙に勝利したトランプ氏の政策に対する警戒感が高まったことなどを背景に、一進一退の展開となりました。

▶ 国内債券市況

国内金利は上昇しました。

国内金利は、日銀によるマイナス金利解除や利上げなどの金融政策正常化を受けて上昇しました。

▶ 国内短期債券市況

国内短期ゾーンの金利は上昇、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）は縮小となりました。

国内短期ゾーンの金利は、日銀によるイールドカーブ・コントロールの撤廃や短期金利目標水準の引き上げなどから上昇しました。

一般債の国債とのスプレッドは、国内金利が上昇する中、堅調なファンダメンタルズなどを背景に縮小しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 国内バランス20

わが国の株式・債券を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、安定した収益の確保をめざしました。原則として各資産への実質投資比率は、国内株式20%、国内債券80%程度とします。株式の資産配分比率は運用の基本方針程度の水準を維持しました。債券運用部分については、日本債券マザーファンドと日本短期債券マザーファンドの比率を概ね45%：55%とし、期間末にかけこれを維持しました。

▶ 日本株式マザーファンド

銘柄選択にあたっては、主として企業の利益成長性に着目するとともに、業績動向やバリュエーション等の観点で割安と判断した銘柄を中心に投資しました。

組入銘柄数は概ね64～77銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜銘柄入替を行いました。

当期間は、中長期的な業績成長が期待される「古河電気工業」、「トヨタ自動車」など10銘柄を新規に組み入れました。一方、業績動向や株価水準などを考慮し「キーエンス」、「SCREENホールディングス」など22銘柄を全株売却しました。

▶ 日本債券マザーファンド

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、2024年6月から8月上旬にかけては短め、それ以外の期間は中立を基本に調整しました。年限別構成については、6月から8月上旬にかけては短期ゾーンのオーバーウェイト・中期ゾーンのアンダーウェイト、それ以外の期間については中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しました。

債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債のスプレッド（利回り格差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的にスプレッド妙味のある事業債、円建外債および資産担保証券（ABS）のオーバーウェイト、スプレッド妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

▶ 日本短期債券マザーファンド

組入比率

期間を通じて高位組み入れを維持しました。

債券種別構成

国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

デュレーション

日銀の金融政策変更局面においても中短期金利は引き続き低位で推移するものと想定し、デュレーションをベンチマーク

並みに調整しました。

残存期間構成

利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項目 | 第24期 2024年2月28日～2025年2月27日 |
|----------------|-------------------------------|
| 当期分配金（対基準価額比率） | -（-%） |
| 当期の収益 | - |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,898 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ 国内バランス20

引き続き、株式の資産配分比率は運用の基本方針程度の水準を維持します。残りの債券運用部分については、市場環境などを踏まえ機動的な運用を行ってまいります。

▶ 日本株式マザーファンド

株式の組入比率は、運用の基本方針にしたがい、引き続き高水準を維持する方針です。

企業の収益性、成長性、安定性などに着目し、ボトムアップ・アプローチにより、厳選した銘柄への投資を引き続き行います。銘柄選定にあたっては、(1) 新しい技術開発、(2) 新興国向け事業の競争力、(3) 企業買収や事業売却および戦略的投資の動向、などに注目しています。株価変動によるバリュエーションの水準、中長期的な成長性や事業リスク、流動性などを考慮しながら組入比率の調整や新規銘柄への入れ替えを検討していく方針です。

米国をはじめとした世界各国の景気は緩やかな回復・拡大基調を保っており、国内外の株式市況は概ね良好な企業業績に支えられていると評価しています。また、米連邦準備制度理事会（FRB）は2024年には利下げに転じており、金融政策の

転換は今後の景気を後押しすると捉えています。当面の株式市況は、日米の金融政策や政治動向などにより、一時的に変動性が高まる局面も想定されますが、このような局面では本来の企業価値から大きく乖離したと思われる株価形成がなされることも多く、中長期の投資機会の一つとして捉えています。投資環境の変化を注意深く観察しながら、多様化する物色動向などに対してより柔軟に対応出来るよう機動的にポートフォリオを管理し、パフォーマンスの向上に努める所存です。

▶ 日本債券マザーファンド

安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、当面ベンチマーク対比中立を基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。

債券種別構成は、事業債、円建外債および資産担保証券（ABS）について、ベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

▶ 日本短期債券マザーファンド

国内景気は一部に弱めの動きもみられますが緩やかに回復しています。海外経済

は緩やかに成長しており、輸出や生産は横ばい圏内の動きとなっています。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移しています。先行きにつきましては、海外経済の緩やかな成長や緩和的な金融環境などを背景に、緩やかな回復傾向が続くものと思われます。国内債券相場は、日銀金融政策や海外金利動向などを睨みながらやや上値の重い神経質な

展開を予想します。国内事業債のスプレッド（利回り格差）についてはもみ合いでの推移になるものと思われます。こうしたなか、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、国債対比で利回りの高い一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。また、安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

2024年2月28日～2025年2月27日

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-------------|--------|---------|---|
| | 金額 (円) | 比率 (%) | |
| (a) 信託報酬 | 131 | 1.210 | (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数) |
| (投 信 会 社) | (62) | (0.572) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (62) | (0.572) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (7) | (0.066) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.010 | (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 |
| (株 式) | (1) | (0.010) | |
| (c) その他費用 | 0 | 0.003 | (c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.003) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 |
| 合 計 | 132 | 1.223 | |

期中の平均基準価額は、10,794円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

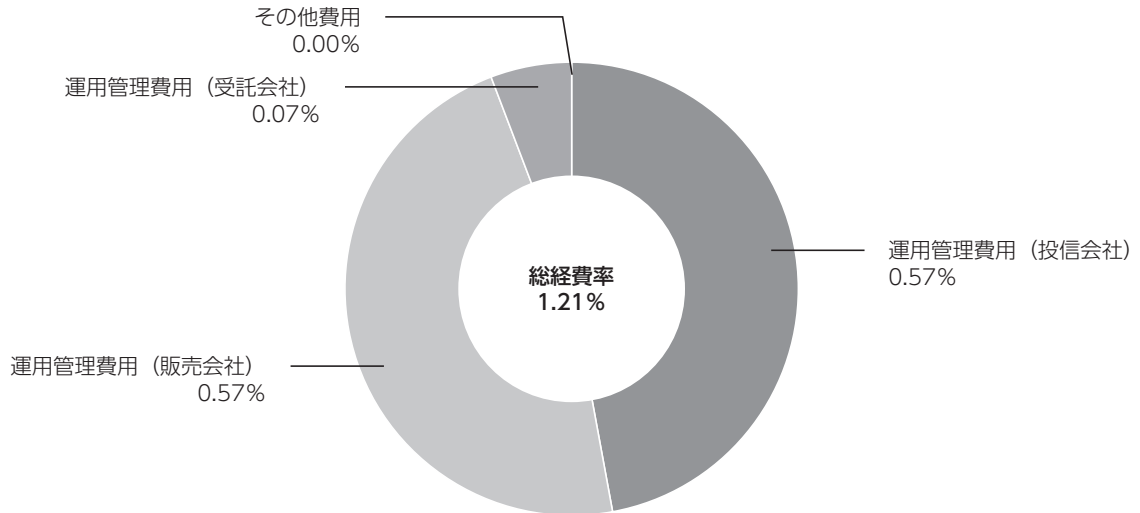
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.21%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月28日～2025年2月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|---------------|---------|---------|---------|---------|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 日本株式マザーファンド | 20,983 | 132,544 | 31,904 | 205,324 |
| 日本短期債券マザーファンド | 186,778 | 209,399 | 238,023 | 266,832 |
| 日本債券マザーファンド | 136,922 | 190,197 | 160,665 | 222,954 |

○株式売買比率

(2024年2月28日～2025年2月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 | |
|---------------------|-------------|--|
| | 日本株式マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 2,128,953千円 | |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 2,739,677千円 | |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.77 | |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月28日～2025年2月27日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 国内バランス２０>

該当事項はございません。

<日本株式マザーファンド>

| 区分 | 買付額等 A | うち利害関係人との取引状況B | | 売付額等 C | うち利害関係人との取引状況D | |
|----|-----------|----------------|------|-----------|----------------|-----|
| | | | B/A | | | D/C |
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | 百万円 | % |
| 株式 | 907 | 117 | 12.9 | 1,221 | 119 | 9.7 |

平均保有割合 12.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

＜日本短期債券マザーファンド＞

| 区 分 | 買付額等 | | | 売付額等 | | |
|-----|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|
| | A | うち利害関係人との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | C | うち利害関係人との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
| 公社債 | 百万円 15,342 | 百万円 328 | % 2.1 | 百万円 12,144 | 百万円 300 | % 2.5 |

平均保有割合 8.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

＜日本債券マザーファンド＞

| 区 分 | 買付額等 | | | 売付額等 | | |
|-----|--------------|----------------|---------------|--------------|----------------|---------------|
| | A | うち利害関係人との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | C | うち利害関係人との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
| 公社債 | 百万円 2,900 | 百万円 329 | % 11.3 | 百万円 2,879 | 百万円 549 | % 19.1 |

平均保有割合 7.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

＜日本株式マザーファンド＞

| 種 類 | 買 付 額 | 売 付 額 | 当 期 末 保 有 額 |
|-----|----------|-----------|-------------|
| 株式 | 百万円 4 | 百万円 19 | 百万円 171 |

＜日本短期債券マザーファンド＞

| 種 類 | 買 付 額 | 売 付 額 | 当 期 末 保 有 額 |
|-----|------------|------------|-------------|
| 公社債 | 百万円 200 | 百万円 500 | 百万円 395 |

＜日本債券マザーファンド＞

| 種 類 | 買 付 額 | 売 付 額 | 当 期 末 保 有 額 |
|-----|----------|-----------|-------------|
| 公社債 | 百万円 — | 百万円 99 | 百万円 98 |

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

<日本株式マザーファンド>

| 種 類 | 買 付 額 |
|-----|----------|
| 株式 | 百万円 6 |

<日本短期債券マザーファンド>

| 種 類 | 買 付 額 |
|-----|--------------|
| 公社債 | 百万円 1,800 |

<日本債券マザーファンド>

| 種 類 | 買 付 額 |
|-----|------------|
| 公社債 | 百万円 400 |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|-------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 179千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 22千円 |
| (B) / (A) | 12.5% |

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱HCキャピタル、アコム、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2025年2月27日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|---------------|---------|---------|---------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| 日本株式マザーファンド | 62,012 | 51,091 | 324,788 |
| 日本短期債券マザーファンド | 712,624 | 661,378 | 739,355 |
| 日本債券マザーファンド | 466,980 | 443,236 | 604,885 |

○投資信託財産の構成

(2025年2月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|---------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 日本株式マザーファンド | 千円 324,788 | % 19.3 |
| 日本短期債券マザーファンド | 739,355 | 43.9 |
| 日本債券マザーファンド | 604,885 | 35.9 |
| コール・ローン等、その他 | 16,424 | 0.9 |
| 投資信託財産総額 | 1,685,452 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|--------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 1,685,452,333 |
| コール・ローン等 | 15,156,079 |
| 日本株式マザーファンド(評価額) | 324,788,436 |
| 日本短期債券マザーファンド(評価額) | 739,355,543 |
| 日本債券マザーファンド(評価額) | 604,885,260 |
| 未収入金 | 1,266,823 |
| 未収利息 | 192 |
| (B) 負債 | 12,249,979 |
| 未払解約金 | 1,625,154 |
| 未払信託報酬 | 10,599,830 |
| その他未払費用 | 24,995 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 1,673,202,354 |
| 元本 | 1,576,105,158 |
| 次期繰越損益金 | 97,097,196 |
| (D) 受益権総口数 | 1,576,105,158口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,616円 |

<注記事項>

- ①期首元本額 1,707,457,451円
 期中追加設定元本額 574,189,905円
 期中一部解約元本額 705,542,198円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,0616円です。

②分配金の計算過程

| 項 目 | 2024年2月28日～ 2025年2月27日 |
|---------------------------|---------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | -円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | -円 |
| 収益調整金額 | 230,031,972円 |
| 分配準備積立金額 | 69,137,436円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | 299,169,408円 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | 1,898円 |
| 1万口当たり分配金額 | -円 |
| 収益分配金金額 | -円 |

○損益の状況 (2024年2月28日～2025年2月27日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 20,627 |
| 受取利息 | 20,650 |
| 支払利息 | △ 23 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 19,403,481 |
| 売買益 | 7,523,794 |
| 売買損 | △ 26,927,275 |
| (C) 信託報酬等 | △ 21,590,362 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 40,973,216 |
| (E) 前期繰越損益金 | 69,137,436 |
| (F) 追加信託差損益金 | 68,932,976 |
| (配当等相当額) | (229,612,348) |
| (売買損益相当額) | (△160,679,372) |
| (G) 計(D+E+F) | 97,097,196 |
| (H) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 97,097,196 |
| 追加信託差損益金 | 68,932,976 |
| (配当等相当額) | (230,031,972) |
| (売買損益相当額) | (△161,098,996) |
| 分配準備積立金 | 69,137,436 |
| 繰越損益金 | △ 40,973,216 |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。

(2024年11月5日)

日本株式マザーファンド

《第26期》決算日2024年7月22日

[計算期間：2023年7月25日～2024年7月22日]

「日本株式マザーファンド」は、7月22日に第26期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | わが国の株式を主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選択を行います。銘柄選択の基準として、主として利益成長性に着目します。業種配分は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の業種比率を参考にしますが、各業種の予想利益成長率等を勘案して決定します。株式組入比率は高位を維持することを基本とします。東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。 |
| 主要運用対象 | わが国の株式を主要投資対象とします。 |
| 主な組入制限 | 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) | | 株組入比率 | 株先物比率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|-------|-----------------------------|------|-------|-------|--------------|
| | 円 | 騰落率 | (TOPIX) (配当込み) | 騰落率 | | | |
| 22期(2020年7月22日) | 34,641 | 14.8 | 2,433.41 | 3.7 | 97.9 | — | 百万円 2,766 |
| 23期(2021年7月26日) | 46,347 | 33.8 | 3,042.47 | 25.0 | 97.3 | — | 2,642 |
| 24期(2022年7月22日) | 44,628 | △ 3.7 | 3,165.13 | 4.0 | 97.4 | — | 2,691 |
| 25期(2023年7月24日) | 53,040 | 18.8 | 3,792.67 | 19.8 | 96.7 | — | 2,682 |
| 26期(2024年7月22日) | 67,098 | 26.5 | 4,809.01 | 26.8 | 97.6 | — | 2,829 |

(注) 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。

(注) 「株先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 東 証 株 価 指 数 (TOPIX) (配当込み) | | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|----------------------|---------|-------|----------------------------------|-------|-----------|-----------|
| | 騰 落 率 | 騰 落 率 | 騰 落 率 | 騰 落 率 | | |
| (期 首) 2023年 7月24日 | 円 | % | | % | % | % |
| | 53,040 | — | 3,792.67 | — | 96.7 | — |
| 7 月 末 | 54,286 | 2.3 | 3,861.80 | 1.8 | 96.7 | — |
| 8 月 末 | 53,783 | 1.4 | 3,878.51 | 2.3 | 97.5 | — |
| 9 月 末 | 52,560 | △ 0.9 | 3,898.26 | 2.8 | 96.3 | — |
| 10 月 末 | 50,153 | △ 5.4 | 3,781.64 | △ 0.3 | 96.5 | — |
| 11 月 末 | 54,679 | 3.1 | 3,986.65 | 5.1 | 96.7 | — |
| 12 月 末 | 54,796 | 3.3 | 3,977.63 | 4.9 | 98.1 | — |
| 2024年 1 月 末 | 58,963 | 11.2 | 4,288.36 | 13.1 | 97.8 | — |
| 2 月 末 | 63,909 | 20.5 | 4,499.61 | 18.6 | 97.9 | — |
| 3 月 末 | 66,162 | 24.7 | 4,699.20 | 23.9 | 96.8 | — |
| 4 月 末 | 64,021 | 20.7 | 4,656.27 | 22.8 | 96.7 | — |
| 5 月 末 | 65,753 | 24.0 | 4,710.15 | 24.2 | 97.7 | — |
| 6 月 末 | 67,237 | 26.8 | 4,778.56 | 26.0 | 97.1 | — |
| (期 末) 2024年 7月22日 | 67,098 | 26.5 | 4,809.01 | 26.8 | 97.6 | — |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

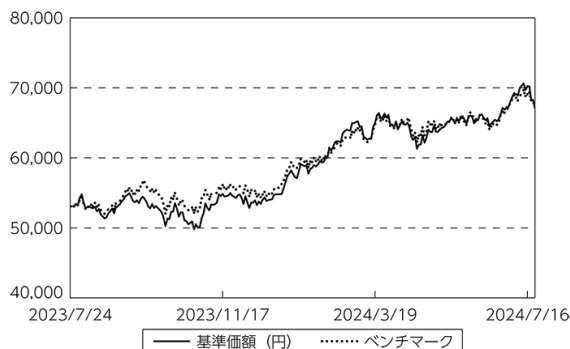
◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ26.5%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(26.8%)を0.3%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米国でインフレの鎮静化が示唆され米国株式市況が上昇したことや、米国の半導体関連企業の決算内容を受け、関連する国内企業への業績拡大期待が高まったことなどを背景に国内株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米国で金融引き締めが長期化するとの見方が強まったことなどから長期金利が上昇し、米国株式市況が軟調に推移したことなどを背景に国内株式市況が一時的に下落したことが、基準価額の一時的な下落要因となりました。

(銘柄要因)

上位5銘柄…「三菱UFJフィナンシャル・グループ」、「日立製作所」、「東京エレクトロン」、「三井物産」、「第一三共」

下位5銘柄…「ネクステージ」、「イビデン」、「ベイカレント・コンサルティング」、「ローム」、「ニデック」

● 投資環境について

◎ 国内株式市況

- ・ 国内株式市況は上昇しました。
- ・ 期間の初めから2023年10月下旬にかけては、外国為替市場で円安・米ドル高が進行し、国内企業の業績改善期待が高まった一方で、米国で金融引き締めが長期化するとの見方が強まったことなどから長期金利が上昇し、米国株式市況が軟調に推移したことなどを背景に一進一退で推移しました。
- ・ 2023年11月上旬から2024年3月下旬にかけては、米国においてインフレの鎮静化が示唆され米国株式市況が上昇したことや、米国の半導体関連企業の決算内容を受け、関連する国内企業への業績拡大期待が高まったことなどを背景に国内株式市況も上昇しました。

- ・ 2024年4月上旬から期間末にかけては、国内企業決算が概ね堅調であったことや、日銀の金融政策の修正観測などを背景に金融関連銘柄が買われたことなどを背景に上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ 中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。
- ・ 銘柄選択にあたっては、主として企業の利益成長性に着目するとともに、業績動向やバリュエーション等の観点で割安と判断した銘柄を中心に投資しました。
- ・ 組入銘柄数は概ね70~79銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜銘柄入替を行いました。当期間では、「トヨタ自動車」や「三菱重工業」など13銘柄を新規に組み入れました。一方、「ネクステージ」や「ベイカレント・コンサルティング」など18銘柄を全株売却しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について (プラス要因)

- ・ 業種配分要因：保険業をベンチマークに対してオーバーウェイト、空運業をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。
- ・ 銘柄選択要因：「デクセリアルズ」、「第一三共」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

(マイナス要因)

- ・ 業種配分要因：情報・通信業をベンチマークに対してオーバーウェイト、石油・石炭製品をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。
- ・ 銘柄選択要因：「イビデン」、「朝日インテック」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

○今後の運用方針

- ・株式の組入比率は、運用の基本方針にしたがい、引き続き高水準を維持する方針です。
 - ・企業の収益性、成長性、安定性などに着目し、ボトムアップ・アプローチにより、厳選した銘柄への投資を引き続き行います。銘柄選定にあたっては、(1)新しい技術開発、(2)新興国向け事業の競争力、(3)企業買収や事業売却および戦略的投資の動向、などに注目しています。株価変動によるバリュエーションの水準、中長期的な成長性や事業リスク、流動性などを考慮しながら組入比率の調整や新規銘柄への入れ替えを検討していく方針です。
- ・米国をはじめとした世界各国の景気は緩やかな回復・拡大基調を保っており、インフレの動向には引き続き注視は必要なものの国内外の株式市況は概ね良好なファンダメンタルズに支えられているとみています。今後も投資環境の変化を注意深く観察しながら、多様化する物色動向などに対してより柔軟に対応出来るよう機動的にポートフォリオを管理し、パフォーマンスの向上に努める所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年7月25日～2024年7月22日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------------|-----------------|-----------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 円 24 (24) | % 0.041 (0.041) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 |
| 合 計 | 24 | 0.041 | |
| 期中の平均基準価額は、59,014円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月25日～2024年7月22日)

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|---|----|-------|---------|-----|-----------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 国 | 上場 | 千株 | 千円 | 千株 | 千円 |
| 内 | | 165 | 618,152 | 307 | 1,076,625 |
| | | (153) | () | | |

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年7月25日～2024年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|-------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 1,694,777千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 2,681,773千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.63 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月25日～2024年7月22日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|------------|--------------------|---------------|--------------|--------------------|---------------|
| | | | | | | |
| 株式 | 百万円 618 | 百万円 106 | % 17.2 | 百万円 1,076 | 百万円 157 | % 14.6 |

利害関係人の発行する有価証券等

| 種 類 | 買 付 額 | 売 付 額 | 当 期 末 保 有 額 |
|-----|----------|-----------|-------------|
| 株式 | 百万円 — | 百万円 14 | 百万円 161 |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 1,136千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 198千円 |
| (B) / (A) | 17.5% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年7月22日現在)

国内株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | |
|------------------------|---------|------|---------|-------|
| | 株 数 | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千株 | 千円 |
| 建設業 (一%) | | | | |
| ウエストホールディングス | 3.5 | — | — | — |
| 食料品 (2.4%) | | | | |
| 山崎製パン | — | 6.1 | 21,630 | |
| ヤクルト本社 | 1.9 | — | — | |
| サントリー食品インターナショナル | 4 | 3.4 | 18,846 | |
| 味の素 | 5.1 | 4.2 | 26,313 | |
| 化学 (10.2%) | | | | |
| レゾナック・ホールディングス | 17.7 | 14.8 | 54,982 | |
| 東ソー | 9 | — | — | |
| 三菱瓦斯化学 | 9.7 | 4.3 | 12,663 | |
| 東京応化工業 | — | 3.1 | 12,496 | |
| トリケミカル研究所 | 17.6 | 11.9 | 43,851 | |
| 日本ペイントホールディングス | 21.8 | — | — | |
| 富士フィルムホールディングス | — | 10.8 | 40,683 | |
| 資生堂 | 4.2 | 5.4 | 25,304 | |
| デクセリアルズ | 7.8 | 7.7 | 55,786 | |
| ニフコ | 5 | 4.1 | 15,662 | |
| ユニ・チャーム | 4.5 | 4.1 | 21,176 | |
| 医薬品 (7.0%) | | | | |
| エーザイ | 0.3 | 1.8 | 11,835 | |
| ネクスセラファーマ | 20 | 17.7 | 28,974 | |
| 第一三共 | 26.3 | 20.1 | 117,665 | |
| ベプチドリーム | — | 12.3 | 33,745 | |
| ガラス・土石製品 (3.1%) | | | | |
| 日東紡績 | 7.5 | 6.8 | 38,624 | |
| AGC | 4.9 | — | — | |
| MARUWA | 1.4 | 1.3 | 47,905 | |
| 機械 (6.0%) | | | | |
| ディスコ | — | 0.5 | 24,955 | |
| SMC | 0.2 | 0.4 | 30,168 | |
| ダイキン工業 | 1.3 | 1 | 22,485 | |
| グローリー | 5.7 | 4.6 | 12,461 | |
| THK | 7.6 | 9.4 | 27,772 | |

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | |
|---------------------|---------|------|---------|-------|
| | 株 数 | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千株 | 千円 |
| 三菱重工業 | — | 25 | 46,487 | |
| IHI | 6.2 | — | — | |
| 電気機器 (22.2%) | | | | |
| イビデン | 6.9 | 5.9 | 38,350 | |
| 日立製作所 | 7.9 | 28.5 | 98,638 | |
| 富士電機 | 6.4 | 4.8 | 40,488 | |
| ニデック | 3.8 | 3.5 | 23,842 | |
| パナソニック ホールディングス | 17.2 | — | — | |
| ソニーグループ | 7.2 | 6.7 | 96,882 | |
| TDK | 4.7 | 3.9 | 40,540 | |
| メイコー | 3.5 | 6.4 | 41,024 | |
| アドバンテスト | 2.2 | 7.6 | 45,037 | |
| キーエンス | 0.9 | 0.2 | 14,146 | |
| シスメックス | 1.5 | 3.2 | 8,163 | |
| レーザーテック | — | 1 | 23,168 | |
| スタンレー電気 | 2.9 | — | — | |
| エンプラス | — | 1.5 | 10,980 | |
| ローム | 2.3 | 7.8 | 17,191 | |
| 新光電気工業 | 5.8 | — | — | |
| SCREENホールディングス | 1.5 | 1 | 13,050 | |
| 東京エレクトロン | 4.1 | 3.3 | 100,221 | |
| 輸送用機器 (9.1%) | | | | |
| デンソー | 7 | 21 | 51,975 | |
| 川崎重工業 | 4.6 | 5.7 | 34,467 | |
| いすゞ自動車 | 15.5 | 11.9 | 26,132 | |
| トヨタ自動車 | — | 15.7 | 48,513 | |
| 本田技研工業 | — | 22.3 | 37,263 | |
| スズキ | 11.4 | 24.6 | 45,030 | |
| 豊田合成 | — | 2.7 | 7,357 | |
| 精密機器 (2.3%) | | | | |
| HOYA | 1.7 | 1.4 | 26,390 | |
| 朝日インテック | 11.4 | 15.8 | 38,536 | |
| その他製品 (1.3%) | | | | |
| アシックス | — | 14.4 | 37,238 | |

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|-----------------------|---------|-------|---------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 陸運業 (0.7%) | | | |
| 東日本旅客鉄道 | 1.4 | — | — |
| 東海旅客鉄道 | 1.6 | 5.7 | 19,995 |
| SGホールディングス | 6.8 | — | — |
| 情報・通信業 (10.8%) | | | |
| GMOペイメントゲートウェイ | 1.5 | 2.2 | 19,236 |
| インターネットイニシアティブ | 13.2 | 11.1 | 28,710 |
| マネーフォワード | 5.5 | 6.1 | 29,896 |
| Appier Group | 8.4 | — | — |
| ビジョナル | 2.5 | 2.7 | 20,844 |
| Sansan | 49.3 | 30.5 | 70,241 |
| メドレー | — | 1.3 | 5,577 |
| JMDC | — | 1.5 | 5,478 |
| NTTデータグループ | 6.8 | 5.8 | 13,708 |
| スクウェア・エニックス・ホールディングス | 4.6 | — | — |
| コナミグループ | 6.6 | 4.7 | 55,530 |
| ソフトバンクグループ | 4.7 | 4.6 | 48,300 |
| 卸売業 (6.4%) | | | |
| 伊藤忠商事 | 6.6 | 5.6 | 44,508 |
| 丸紅 | 2.1 | — | — |
| 三井物産 | 22.8 | 36.4 | 132,605 |

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | | |
|--------------------------|---------|-------|---------|-----------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 | |
| | 千株 | 千株 | 千円 | |
| 小売業 (4.3%) | | | | |
| ネクステージ | 15 | — | — | |
| FOOD & LIFE COMPANIE | 9.5 | 11 | 29,832 | |
| パン・パシフィック・インターナショナルホ | 11 | 8.5 | 34,042 | |
| 丸井グループ | 4.6 | — | — | |
| ファーストリテイリング | 1.5 | 1.3 | 54,067 | |
| 銀行業 (8.4%) | | | | |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 102.2 | 92.3 | 161,248 | |
| 三井住友フィナンシャルグループ | 8.2 | 6.4 | 69,728 | |
| 証券・商品先物取引業 (0.5%) | | | | |
| SBIホールディングス | 4.3 | 3.6 | 14,378 | |
| 保険業 (4.0%) | | | | |
| 第一生命ホールディングス | 10 | 7.4 | 34,306 | |
| 東京海上ホールディングス | 15 | 12.5 | 76,387 | |
| 不動産業 (1.1%) | | | | |
| 三井不動産 | 6.6 | 19.6 | 29,752 | |
| サービス業 (0.2%) | | | | |
| エムスリー | 4 | 3.4 | 5,168 | |
| ペイカレント・コンサルティング | 7.2 | — | — | |
| リログループ | 5.1 | — | — | |
| 合 計 | 株数・金額 | 673 | 685 | 2,760,643 |
| | 銘柄数<比率> | 77 | 72 | <97.6%> |

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年7月22日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 株式 | 2,760,643 | 96.1 |
| コール・ローン等、その他 | 111,098 | 3.9 |
| 投資信託財産総額 | 2,871,741 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月22日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 2,871,741,011 |
| コール・ローン等 | 87,367,061 |
| 株式(評価額) | 2,760,643,100 |
| 未収入金 | 22,349,603 |
| 未収配当金 | 1,381,094 |
| 未収利息 | 153 |
| (B) 負債 | 42,175,384 |
| 未払金 | 24,140,706 |
| 未払解約金 | 18,034,678 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 2,829,565,627 |
| 元本 | 421,706,467 |
| 次期繰越損益金 | 2,407,859,160 |
| (D) 受益権総口数 | 421,706,467口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 67,098円 |

<注記事項>

- ①期首元本額 505,729,208円
 期中追加設定元本額 85,924,760円
 期中一部解約元本額 169,947,501円
 また、1口当たり純資産額は、期末6.7098円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

| | |
|------------------------|--------------|
| 三菱UFJ 積立ファンド(日本バランス型) | 182,677,946円 |
| 三菱UFJ グローバルバランス(積極型) | 70,529,206円 |
| 三菱UFJ 国内バランス20 | 53,407,562円 |
| 三菱UFJ <DC>グローバルバランス60型 | 51,136,966円 |
| 三菱UFJ グローバルバランス(安定型) | 32,392,008円 |
| 三菱UFJ <DC>グローバルバランス40型 | 23,957,314円 |
| 三菱UFJ <DC>グローバルバランス20型 | 6,443,865円 |
| 三菱UFJ グローバルバランスVA | 1,161,600円 |
| 合計 | 421,706,467円 |

【お知らせ】

- ①委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)
- ②ベンチマークについて「配当込み指数」とすることを明示、併せて指数名称の記載整備を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。
 旧指数：東証株価指数(TOPIX)
 新指数：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
 (2023年11月30日)

○損益の状況 (2023年7月25日～2024年7月22日)

| 項 目 | 当 期 |
|----------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 42,279,096 |
| 受取配当金 | 42,275,281 |
| 受取利息 | 18,453 |
| その他収益金 | 106 |
| 支払利息 | △ 14,744 |
| (B) 有価証券売買損益 | 624,454,261 |
| 売買益 | 787,656,465 |
| 売買損 | △ 163,202,204 |
| (C) 当期損益金(A+B) | 666,733,357 |
| (D) 前期繰越損益金 | 2,176,638,557 |
| (E) 追加信託差損益金 | 408,780,168 |
| (F) 解約差損益金 | △ 844,292,922 |
| (G) 計(C+D+E+F) | 2,407,859,160 |
| 次期繰越損益金(G) | 2,407,859,160 |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

日本債券マザーファンド

《第26期》決算日2024年7月22日

[計算期間：2023年7月25日～2024年7月22日]

「日本債券マザーファンド」は、7月22日に第26期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | わが国の公社債を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。 |
| 主要運用対象 | わが国の公社債を主要投資対象とします。 |
| 主な組入制限 | 外貨建資産への投資は行いません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | NOMURA-BPI総合 | | 債組入比率 | 債先物比率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|------|--------------|------|-------|-------|-------|
| | 期騰 | 期中落率 | 期騰 | 期中落率 | | | |
| | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 22期(2020年7月22日) | 14,876 | △1.3 | 387.22 | △1.3 | 96.2 | — | 8,265 |
| 23期(2021年7月26日) | 14,983 | 0.7 | 388.73 | 0.4 | 96.2 | — | 8,863 |
| 24期(2022年7月22日) | 14,526 | △3.1 | 377.16 | △3.0 | 98.2 | — | 8,914 |
| 25期(2023年7月24日) | 14,447 | △0.5 | 374.97 | △0.6 | 98.2 | — | 9,247 |
| 26期(2024年7月22日) | 13,802 | △4.5 | 357.52 | △4.7 | 98.2 | — | 8,341 |

(注) NOMURA-BPI総合とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率ー売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | N O M U R A - B P I 総 合 | | 債 組 入 比 率 | 債 先 物 比 率 | 券 率 |
|----------------------|---------|-------|-------------------------|-------|-----------|-----------|-----|
| | 円 | 騰 落 率 | | 騰 落 率 | | | |
| (期 首) 2023年 7月24日 | 14,447 | — | 374.97 | — | 98.2 | — | — |
| 7 月 末 | 14,265 | △1.3 | 370.43 | △1.2 | 97.4 | — | — |
| 8 月 末 | 14,166 | △1.9 | 367.76 | △1.9 | 97.3 | — | — |
| 9 月 末 | 14,072 | △2.6 | 365.13 | △2.6 | 97.0 | — | — |
| 10 月 末 | 13,867 | △4.0 | 359.31 | △4.2 | 97.7 | — | — |
| 11 月 末 | 14,135 | △2.2 | 366.88 | △2.2 | 98.4 | — | — |
| 12 月 末 | 14,194 | △1.8 | 368.38 | △1.8 | 97.6 | — | — |
| 2024年 1 月 末 | 14,094 | △2.4 | 365.75 | △2.5 | 97.1 | — | — |
| 2 月 末 | 14,146 | △2.1 | 366.90 | △2.2 | 96.2 | — | — |
| 3 月 末 | 14,129 | △2.2 | 366.50 | △2.3 | 96.8 | — | — |
| 4 月 末 | 13,980 | △3.2 | 362.35 | △3.4 | 97.7 | — | — |
| 5 月 末 | 13,760 | △4.8 | 356.53 | △4.9 | 96.9 | — | — |
| 6 月 末 | 13,799 | △4.5 | 357.51 | △4.7 | 98.2 | — | — |
| (期 末) 2024年 7月22日 | 13,802 | △4.5 | 357.52 | △4.7 | 98.2 | — | — |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.5%の下落となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−4.7%)を0.2%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(下落要因)

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について**◎ 国内債券市況**

- ・ 国内金利は上昇しました。
- ・ 国内金利は、日銀によるイールドカーブ・コントロール撤廃やマイナス金利解除などの金融政策正常化を受けて上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ ベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。
- ・ ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、2023年8月から11月末および2024年6月から期間末にかけては短め、その他の期間については中立を基本に調整しました。年限別構成については、2023年8月から11月末および2024年6月から期間末にかけては中期および超長期ゾーンのアンダーウェイト、その他の期間については中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しました。
- ・ 債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債の спреッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的に спреッド 妙味のある事業債、円建外債および A B S のオーバーウェイト、スプレッド 妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について（プラス要因）**◎ デュレーション**

- ・ 2023年9月から10月末にかけての金利上昇局面においてファンド全体のデュレーションを短めとしたこと。

◎ 債券種別構成

- ・ 期間の初めから期間末にかけてスプレッドの縮小した円建外債をオーバーウェイトとしたこと。

(マイナス要因)

◎ デュレーション

- ・ 2023年11月の金利低下局面においてファンド全体のデュレーションを短めとしたこと。

○ 今後の運用方針

- ・ 安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。
- ・ ファンド全体のデュレーションは、当面ベンチマーク対比短めを基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。
- ・ 債券種別構成は、事業債、円建外債および A B S について、ベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年7月25日～2024年7月22日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------------|---------------|-----------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 円 0 (0) | % 0.000 (0.000) | (a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 |
| 合 計 | 0 | 0.000 | |
| 期中の平均基準価額は、14,051円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月25日～2024年7月22日)

公社債

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|--------|------|-----------|-------------------------|
| | | 千円 | 千円 |
| 国 内 | 国債証券 | 3,033,396 | 3,630,469 |
| | 社債券 | 1,500,000 | 1,196,109 (100,000) |

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月25日～2024年7月22日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|--------------|--------------------|---------------|--------------|--------------------|---------------|
| | | | | | | |
| 公社債 | 百万円 4,533 | 百万円 839 | % 18.5 | 百万円 4,826 | 百万円 749 | % 15.5 |

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

| 種 類 | 買 付 額 | 売 付 額 | 当 期 末 保 有 額 |
|-----|----------|----------|-------------|
| 公社債 | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 198 |

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

| 種 類 | 買 付 額 |
|-----|--------------|
| 公社債 | 百万円 1,000 |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタル、アコム、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年7月22日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 末 | | | | | | | |
|-------|--------------------------|--------------------------|----------------|--------------------|---------------|----------------|----------------|--|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格以下 組 入 比 率 | 残存期間別組入比率 | | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 | |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % | |
| 国債証券 | 4,760,000 | 4,609,768 | 55.3 | — | 52.9 | 2.4 | — | |
| 普通社債券 | 3,600,000 (3,600,000) | 3,585,445 (3,585,445) | 43.0 (43.0) | — (—) | 6.0 (6.0) | 25.0 (25.0) | 12.0 (12.0) | |
| 合 計 | 8,360,000 (3,600,000) | 8,195,213 (3,585,445) | 98.2 (43.0) | — (—) | 58.8 (6.0) | 27.4 (25.0) | 12.0 (12.0) | |

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘柄 | 当期 | | | 末 | 償還年月日 |
|-----------------|-----|---------|---------|---|------------|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | | |
| 国債証券 | % | 千円 | 千円 | | |
| 第168回利付国債 (5年) | 0.6 | 200,000 | 200,408 | | 2029/3/20 |
| 第4回利付国債 (40年) | 2.2 | 20,000 | 20,376 | | 2051/3/20 |
| 第5回利付国債 (40年) | 2.0 | 140,000 | 136,120 | | 2052/3/20 |
| 第7回利付国債 (40年) | 1.7 | 40,000 | 35,894 | | 2054/3/20 |
| 第10回利付国債 (40年) | 0.9 | 50,000 | 34,742 | | 2057/3/20 |
| 第15回利付国債 (40年) | 1.0 | 70,000 | 46,818 | | 2062/3/20 |
| 第16回利付国債 (40年) | 1.3 | 70,000 | 51,414 | | 2063/3/20 |
| 第17回利付国債 (40年) | 2.2 | 50,000 | 47,822 | | 2064/3/20 |
| 第362回利付国債 (10年) | 0.1 | 200,000 | 192,122 | | 2031/3/20 |
| 第363回利付国債 (10年) | 0.1 | 280,000 | 268,130 | | 2031/6/20 |
| 第364回利付国債 (10年) | 0.1 | 250,000 | 238,550 | | 2031/9/20 |
| 第366回利付国債 (10年) | 0.2 | 80,000 | 76,398 | | 2032/3/20 |
| 第370回利付国債 (10年) | 0.5 | 110,000 | 106,252 | | 2033/3/20 |
| 第373回利付国債 (10年) | 0.6 | 20,000 | 19,295 | | 2033/12/20 |
| 第374回利付国債 (10年) | 0.8 | 10,000 | 9,797 | | 2034/3/20 |
| 第375回利付国債 (10年) | 1.1 | 30,000 | 30,134 | | 2034/6/20 |
| 第23回利付国債 (30年) | 2.5 | 50,000 | 56,832 | | 2036/6/20 |
| 第26回利付国債 (30年) | 2.4 | 30,000 | 33,714 | | 2037/3/20 |
| 第28回利付国債 (30年) | 2.5 | 50,000 | 56,630 | | 2038/3/20 |
| 第30回利付国債 (30年) | 2.3 | 50,000 | 55,137 | | 2039/3/20 |
| 第31回利付国債 (30年) | 2.2 | 20,000 | 21,742 | | 2039/9/20 |
| 第32回利付国債 (30年) | 2.3 | 40,000 | 43,918 | | 2040/3/20 |
| 第33回利付国債 (30年) | 2.0 | 40,000 | 42,108 | | 2040/9/20 |
| 第34回利付国債 (30年) | 2.2 | 50,000 | 53,874 | | 2041/3/20 |
| 第36回利付国債 (30年) | 2.0 | 30,000 | 31,222 | | 2042/3/20 |
| 第37回利付国債 (30年) | 1.9 | 40,000 | 40,883 | | 2042/9/20 |
| 第39回利付国債 (30年) | 1.9 | 50,000 | 50,741 | | 2043/6/20 |
| 第40回利付国債 (30年) | 1.8 | 40,000 | 39,886 | | 2043/9/20 |
| 第41回利付国債 (30年) | 1.7 | 30,000 | 29,336 | | 2043/12/20 |
| 第42回利付国債 (30年) | 1.7 | 30,000 | 29,266 | | 2044/3/20 |
| 第44回利付国債 (30年) | 1.7 | 30,000 | 29,125 | | 2044/9/20 |
| 第45回利付国債 (30年) | 1.5 | 10,000 | 9,349 | | 2044/12/20 |
| 第46回利付国債 (30年) | 1.5 | 50,000 | 46,618 | | 2045/3/20 |
| 第47回利付国債 (30年) | 1.6 | 20,000 | 18,946 | | 2045/6/20 |
| 第49回利付国債 (30年) | 1.4 | 30,000 | 27,260 | | 2045/12/20 |
| 第54回利付国債 (30年) | 0.8 | 100,000 | 78,771 | | 2047/3/20 |
| 第60回利付国債 (30年) | 0.9 | 100,000 | 78,684 | | 2048/9/20 |
| 第77回利付国債 (30年) | 1.6 | 210,000 | 185,696 | | 2052/12/20 |
| 第80回利付国債 (30年) | 1.8 | 110,000 | 101,461 | | 2053/9/20 |
| 第82回利付国債 (30年) | 1.8 | 10,000 | 9,191 | | 2054/3/20 |
| 第83回利付国債 (30年) | 2.2 | 20,000 | 20,108 | | 2054/6/20 |
| 第123回利付国債 (20年) | 2.1 | 50,000 | 54,428 | | 2030/12/20 |
| 第140回利付国債 (20年) | 1.7 | 100,000 | 106,609 | | 2032/9/20 |
| 第143回利付国債 (20年) | 1.6 | 140,000 | 147,989 | | 2033/3/20 |
| 第145回利付国債 (20年) | 1.7 | 110,000 | 117,161 | | 2033/6/20 |

| 銘柄 | 当期末 | | | |
|--------------------------------|-------|-----------|-----------|------------|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| 国債証券 | % | 千円 | 千円 | |
| 第146回利付国債 (20年) | 1.7 | 60,000 | 63,873 | 2033/9/20 |
| 第147回利付国債 (20年) | 1.6 | 60,000 | 63,259 | 2033/12/20 |
| 第148回利付国債 (20年) | 1.5 | 120,000 | 125,283 | 2034/3/20 |
| 第149回利付国債 (20年) | 1.5 | 80,000 | 83,380 | 2034/6/20 |
| 第150回利付国債 (20年) | 1.4 | 80,000 | 82,456 | 2034/9/20 |
| 第151回利付国債 (20年) | 1.2 | 80,000 | 80,708 | 2034/12/20 |
| 第152回利付国債 (20年) | 1.2 | 90,000 | 90,555 | 2035/3/20 |
| 第153回利付国債 (20年) | 1.3 | 100,000 | 101,404 | 2035/6/20 |
| 第154回利付国債 (20年) | 1.2 | 90,000 | 90,132 | 2035/9/20 |
| 第155回利付国債 (20年) | 1.0 | 90,000 | 87,972 | 2035/12/20 |
| 第160回利付国債 (20年) | 0.7 | 100,000 | 92,672 | 2037/3/20 |
| 第166回利付国債 (20年) | 0.7 | 100,000 | 90,181 | 2038/9/20 |
| 第183回利付国債 (20年) | 1.4 | 150,000 | 141,214 | 2042/12/20 |
| 第186回利付国債 (20年) | 1.5 | 280,000 | 265,571 | 2043/9/20 |
| 第189回利付国債 (20年) | 1.9 | 20,000 | 20,130 | 2044/6/20 |
| 小計 | | 4,760,000 | 4,609,768 | |
| 普通社債券 | | | | |
| 第447回中国電力 | 0.455 | 100,000 | 98,806 | 2028/5/25 |
| 第459回九州電力 | 0.445 | 100,000 | 98,854 | 2028/1/25 |
| 第2回積水ハウス利払繰延・期限前償還条項・劣後特約付 | 1.713 | 100,000 | 100,203 | 2059/7/8 |
| 第1回住友生命第4回劣後ローン永久債利払繰延・任意償還条項付 | 1.884 | 100,000 | 100,015 | — |
| 第1回日本生命第9回劣後ローン利払繰延・期限前償還条項付 | 1.824 | 100,000 | 100,000 | 2054/8/2 |
| 第16回Zホールディングス | 0.6 | 100,000 | 99,898 | 2025/6/11 |
| 第19回Zホールディングス | 0.35 | 100,000 | 98,624 | 2026/7/28 |
| 第4回日本製鉄利払繰延・期限前償還条項・劣後債特約付 | 1.534 | 100,000 | 99,956 | 2059/6/13 |
| 第1回住友生命2023基金 | 0.705 | 100,000 | 98,438 | 2028/8/8 |
| 第25回J A三井リース | 0.39 | 100,000 | 99,382 | 2026/9/1 |
| 第28回J A三井リース | 0.634 | 100,000 | 98,575 | 2029/1/25 |
| 第9回三井住友トラスト・パナソニックファイナンス | 0.22 | 100,000 | 99,691 | 2025/10/10 |
| 第1回日本生命2021基金劣後特約付 | 0.28 | 100,000 | 98,985 | 2026/8/3 |
| 第24回イオン (サステナビリティ) | 0.799 | 100,000 | 98,641 | 2028/8/17 |
| 第13回住友信託銀行 (劣後特約付) | 2.341 | 100,000 | 102,304 | 2026/6/15 |
| 第14回住友信託銀行劣後特約付 | 2.159 | 100,000 | 102,213 | 2026/9/28 |
| 第31回エス・ティ・ティ・ファイナンス | 0.668 | 100,000 | 100,217 | 2027/6/18 |
| 第30回S B I ホールディングス | 1.18 | 100,000 | 99,289 | 2027/7/22 |
| 第34回S B I ホールディングス | 0.95 | 100,000 | 99,475 | 2026/6/5 |
| 第43回リコーリース (サステナビリティ) | 0.723 | 100,000 | 99,342 | 2028/10/25 |
| 第16回イオンフィナンシャルサービス | 0.27 | 200,000 | 199,384 | 2025/6/24 |
| 第79回アコム | 0.29 | 100,000 | 99,909 | 2025/2/28 |
| 第212回オリックス | 0.654 | 200,000 | 198,950 | 2028/3/8 |
| 第73回三菱UFJリース | 0.28 | 100,000 | 98,917 | 2027/1/29 |
| 第38回大和証券グループ本社 | 0.54 | 100,000 | 99,799 | 2026/2/24 |
| 第8回野村ホールディングス | 0.959 | 100,000 | 99,020 | 2028/9/6 |
| 第37回イオンモール (グリーン) | 1.107 | 100,000 | 99,618 | 2028/12/14 |
| 第2回ソフトバンク | 0.33 | 100,000 | 99,898 | 2025/3/18 |
| 第8回ソフトバンク | 0.35 | 100,000 | 99,585 | 2025/12/3 |

| 銘柄 | 当 期 末 | | | |
|------------------------------|-------|-----------|-----------|------------|
| | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
| 普通社債券 | % | 千円 | 千円 | |
| 第35回フランス相互信用連合銀行 | 0.279 | 100,000 | 98,832 | 2026/10/21 |
| 第9回ピー・ピー・シー・イー・エス・エー期限前償還条項付 | 1.1 | 100,000 | 98,419 | 2031/12/16 |
| 第10回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付 | 1.247 | 100,000 | 100,403 | 2028/5/26 |
| 第12回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付 | 1.377 | 100,000 | 100,710 | 2027/12/1 |
| 第6回フランス電力 | 1.059 | 100,000 | 99,093 | 2028/6/28 |
| 小 計 | | 3,600,000 | 3,585,445 | |
| 合 計 | | 8,360,000 | 8,195,213 | |

○投資信託財産の構成

(2024年7月22日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 公社債 | 8,195,213 | 97.0 |
| コール・ローン等、その他 | 256,593 | 3.0 |
| 投資信託財産総額 | 8,451,806 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月22日現在)

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 8,451,806,825 |
| コール・ローン等 | 235,334,742 |
| 公社債(評価額) | 8,195,213,400 |
| 未収利息 | 19,962,725 |
| 前払費用 | 1,295,958 |
| (B) 負債 | 110,583,785 |
| 未払金 | 100,000,000 |
| 未払解約金 | 10,583,785 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 8,341,223,040 |
| 元本 | 6,043,287,227 |
| 次期繰越損益金 | 2,297,935,813 |
| (D) 受益権総口数 | 6,043,287,227口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 13,802円 |

<注記事項>

- ①期首元本額 6,401,217,864円
 期中追加設定元本額 964,917,215円
 期中一部解約元本額 1,322,847,852円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3802円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

| | |
|-------------------------------|----------------|
| 三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド | 3,552,341,944円 |
| 三菱UFJ <DC>日本債券ファンド | 1,168,604,803円 |
| 三菱UFJ 国内バランス20 | 468,420,720円 |
| 三菱UFJ グローバルバランス(安定型) | 229,111,178円 |
| 三菱UFJ <DC>グローバルバランス40型 | 165,837,251円 |
| 三菱UFJ グローバルバランス(積極型) | 146,143,057円 |
| 三菱UFJ <DC>グローバルバランス20型 | 142,848,395円 |
| 三菱UFJ <DC>グローバルバランス60型 | 106,893,733円 |
| 三菱UFJ 日本債券ファンドF(適格機関投資家限定) | 55,116,355円 |
| 三菱UFJ グローバルバランスVA | 7,969,791円 |
| 合計 | 6,043,287,227円 |

【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年7月25日~2024年7月22日)

| 項目 | 当期 |
|------------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 78,786,784 |
| 受取利息 | 78,834,962 |
| 支払利息 | △ 48,178 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 497,107,500 |
| 売買益 | 7,892,600 |
| 売買損 | △ 505,000,100 |
| (C) 保管費用等 | △ 15,830 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 418,336,546 |
| (E) 前期繰越損益金 | 2,846,576,945 |
| (F) 追加信託差損益金 | 395,689,415 |
| (G) 解約差損益金 | △ 525,994,001 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 2,297,935,813 |
| 次期繰越損益金(H) | 2,297,935,813 |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

日本短期債券マザーファンド

《第26期》決算日2024年7月22日

[計算期間：2023年7月25日～2024年7月22日]

「日本短期債券マザーファンド」は、7月22日に第26期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。 |
| 主要運用対象 | わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。 |
| 主な組入制限 | 外貨建資産への投資は行いません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | NOMURA-BPI短期 | | 債組入比率 | 債先物比率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|------|--------------|------|-------|-------|--------|
| | 期騰 | 中落率 | 期騰 | 中落率 | | | |
| | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 22期(2020年7月22日) | 11,208 | △0.1 | 235.08 | △0.3 | 95.3 | — | 1,713 |
| 23期(2021年7月26日) | 11,247 | 0.3 | 234.87 | △0.1 | 97.3 | — | 1,703 |
| 24期(2022年7月22日) | 11,248 | 0.0 | 234.59 | △0.1 | 93.9 | — | 1,601 |
| 25期(2023年7月24日) | 11,224 | △0.2 | 234.55 | △0.0 | 94.1 | — | 1,633 |
| 26期(2024年7月22日) | 11,216 | △0.1 | 233.66 | △0.4 | 99.0 | — | 13,299 |

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率ー売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | N O M U R A - B P I 短 期 | | 債 組 入 比 率 % | 債 先 物 比 率 % |
|----------------------|---------|------------|-------------------------|------------|----------------|----------------|
| | 円 | 騰 落 率 % | | 騰 落 率 % | | |
| (期 首) 2023年 7月24日 | 11,224 | — | 234.55 | — | 94.1 | — |
| 7 月 末 | 11,213 | △0.1 | 234.35 | △0.1 | 93.8 | — |
| 8 月 末 | 11,211 | △0.1 | 234.24 | △0.1 | 92.7 | — |
| 9 月 末 | 11,208 | △0.1 | 234.16 | △0.2 | 93.4 | — |
| 10 月 末 | 11,205 | △0.2 | 233.81 | △0.3 | 95.8 | — |
| 11 月 末 | 11,223 | △0.0 | 234.29 | △0.1 | 98.3 | — |
| 12 月 末 | 11,229 | 0.0 | 234.38 | △0.1 | 96.3 | — |
| 2024年 1 月 末 | 11,224 | 0.0 | 234.28 | △0.1 | 97.0 | — |
| 2 月 末 | 11,216 | △0.1 | 233.85 | △0.3 | 97.8 | — |
| 3 月 末 | 11,222 | △0.0 | 233.93 | △0.3 | 97.6 | — |
| 4 月 末 | 11,213 | △0.1 | 233.60 | △0.4 | 95.7 | — |
| 5 月 末 | 11,194 | △0.3 | 233.15 | △0.6 | 95.3 | — |
| 6 月 末 | 11,212 | △0.1 | 233.54 | △0.4 | 99.3 | — |
| (期 末) 2024年 7月22日 | 11,216 | △0.1 | 233.66 | △0.4 | 99.0 | — |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

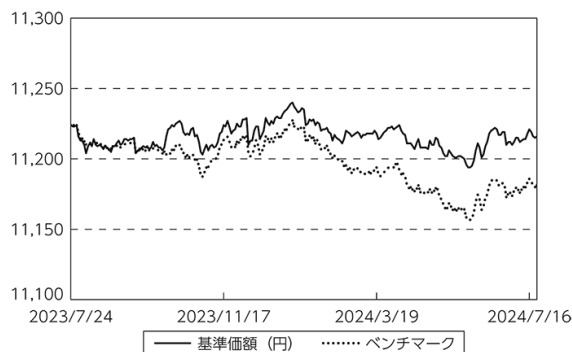
◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.1%の下落となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−0.4%)を0.3%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）が縮小したことや、利子等収益を獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について

◎ 国内短期債券市況

- ・ 国内短期ゾーンの金利は上昇、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）は縮小しました。
- ・ 国内短期ゾーンの金利は、日銀によるイールドカーブ・コントロールの撤廃やマイナス金利の解除など、金融政策の変更を背景に上昇しました。
- ・ 一般債の国債とのスプレッドは、国内金利が上昇する中、期間の後半にかけて縮小しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

◎ 組入比率

- ・ 期間を通じて高位組み入れを維持しました。

◎ 債券種別構成

- ・ 国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

◎ デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

- ・ 日銀の金融政策変更局面においても中短期金利は引き続き低位で推移するものと想定し、デュレーションをベンチマーク並みに調整しました。

◎ 残存期間構成

- ・ 利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-0.4%）を0.3%上回りました。

(プラス要因)

◎ 債券種別構成

- ・ 相対的に利回りの高い一般債をベンチマーク対比でオーバーウェイトとしていたこと。

○ 今後の運用方針

- ・ 国内景気は一部に弱めの動きもみられますが緩やかに回復しています。海外経済は緩やかに成長しており、輸出や生産は横ばい圏内の動きとなっています。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移しています。しかしながら、海外の経済・物価動向、資源価格の動向、企業の賃金・価格設定行動など景気先行きの不確実性は引き続き高いものと思われる。国内債券相場は、海外金利動向、物価動向、為替動向などを睨みながら上値の重い神経質な展開を予想します。国内事業債のスプレッドについてはもみ合いでの推移になるものと思われる。
- ・ こうしたなか、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、国債対比で利回りの高い一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。また、安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年7月25日～2024年7月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2023年7月25日～2024年7月22日)

公社債

| | | 買付額 | 売付額 |
|----|-------|------------------|-------------------------|
| 国内 | 国債証券 | 千円 23,591,721 | 千円 19,531,030 |
| | 地方債証券 | 99,960 | 99,931 |
| | 特殊債券 | 1,298,205 | 699,690 |
| | 社債券 | 10,692,404 | 3,195,245 (500,000) |

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月25日～2024年7月22日)

利害関係人との取引状況

| 区分 | 買付額等 A | うち利害関係人との取引状況B | | 売付額等 C | うち利害関係人との取引状況D | |
|-----|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|
| | | | $\frac{B}{A}$ | | | $\frac{D}{C}$ |
| 公社債 | 百万円 35,682 | 百万円 6,023 | % 16.9 | 百万円 23,525 | 百万円 4,900 | % 20.8 |

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

| 種類 | 買付額 | 売付額 | 当期末保有額 |
|-----|------------|------------|------------|
| 公社債 | 百万円 601 | 百万円 100 | 百万円 598 |

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

| 種 類 | 買 付 額 |
|-----|--------------|
| 公社債 | 百万円 1,899 |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタル、アコム、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2024年7月22日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 末 | | | | | | | |
|-------|--------------|--------------|---------|--------------------|-----------|--------|--------|---|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格以下 組 入 比 率 | 残存期間別組入比率 | | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 | |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % | % |
| 国債証券 | 4,100,000 | 4,101,415 | 30.8 | — | — | 0.2 | 30.6 | |
| 金融債券 | 600,000 | 596,943 | 4.5 | — | — | 4.5 | — | |
| | (600,000) | (596,943) | (4.5) | (—) | (—) | (4.5) | (—) | |
| 普通社債券 | 8,500,000 | 8,472,223 | 63.7 | — | 4.5 | 31.4 | 27.8 | |
| | (8,500,000) | (8,472,223) | (63.7) | (—) | (4.5) | (31.4) | (27.8) | |
| 合 計 | 13,200,000 | 13,170,581 | 99.0 | — | 4.5 | 36.1 | 58.4 | |
| | (9,100,000) | (9,069,166) | (68.2) | (—) | (4.5) | (35.9) | (27.8) | |

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘柄 | 利 率 | 当 期 末 | | 償 還 年 月 日 |
|---------------------------|-------|-----------|-----------|------------|
| | | 額 面 金 額 | 評 価 額 | |
| 国債証券 | % | 千円 | 千円 | |
| 第460回利付国債（2年） | 0.3 | 2,770,000 | 2,769,750 | 2026/5/1 |
| 第461回利付国債（2年） | 0.4 | 1,300,000 | 1,301,911 | 2026/6/1 |
| 第347回利付国債（10年） | 0.1 | 30,000 | 29,753 | 2027/6/20 |
| 小 計 | | 4,100,000 | 4,101,415 | |
| 金融債券 | | | | |
| 第380回信金中金債 | 0.03 | 300,000 | 297,159 | 2026/7/27 |
| 第292号商工債券（3年） | 0.62 | 300,000 | 299,784 | 2027/5/27 |
| 小 計 | | 600,000 | 596,943 | |
| 普通社債券 | | | | |
| 第1回九州電力利払繰延・期限前償還条項・劣後特約付 | 0.99 | 200,000 | 200,014 | 2080/10/15 |
| 第22回大和ハウス工業（グリーン） | 0.13 | 200,000 | 199,432 | 2025/9/12 |
| 第29回大和ハウス工業 | 0.21 | 100,000 | 99,829 | 2025/10/27 |
| 第21回積水ハウス | 0.2 | 200,000 | 198,344 | 2026/7/17 |
| 第1回アサヒグループホールディングス利払繰延条項付 | 0.97 | 400,000 | 400,272 | 2080/10/15 |
| 第12回アサヒグループホールディングス | 0.33 | 100,000 | 98,933 | 2027/6/11 |
| 第19回キリンホールディングス | 0.09 | 400,000 | 396,772 | 2026/6/3 |
| 第14回森ビル | 0.861 | 100,000 | 100,029 | 2024/8/14 |
| 第12回セブン&アイ・ホールディングス | 0.781 | 100,000 | 100,396 | 2025/6/20 |
| 第14回セブン&アイ・ホールディングス | 0.19 | 100,000 | 99,640 | 2025/12/19 |
| 第20回富士フィルムホールディングス（ソーシャル） | 0.633 | 200,000 | 199,888 | 2027/7/16 |
| 第63回神戸製鋼所 | 0.924 | 100,000 | 100,345 | 2025/5/21 |
| 第67回神戸製鋼所 | 0.2 | 100,000 | 98,993 | 2026/6/10 |
| 第17回小松製作所 | 0.608 | 200,000 | 199,984 | 2027/7/16 |
| 第39回ソニーグループ | 0.35 | 300,000 | 298,179 | 2027/3/5 |
| 第18回デンソー | 0.315 | 100,000 | 98,559 | 2028/3/17 |
| 第44回川崎重工業 | 0.853 | 100,000 | 100,358 | 2025/7/24 |
| 第43回IHI | 0.2 | 100,000 | 99,954 | 2024/10/17 |
| 第49回IHI | 0.39 | 100,000 | 98,761 | 2027/6/4 |
| 第25回JA三井リース | 0.39 | 100,000 | 99,382 | 2026/9/1 |
| 第27回JA三井リース | 0.43 | 100,000 | 99,255 | 2027/1/25 |
| 第14回三井住友トラスト・パナソニックファイナンス | 0.574 | 200,000 | 199,418 | 2027/4/19 |
| 第19回三井住友信託銀行 | 0.14 | 100,000 | 99,175 | 2026/4/28 |
| 第39回芙蓉総合リース | 0.35 | 200,000 | 198,152 | 2027/2/26 |
| 第16回エス・ティ・ティ・ファイナンス | 0.18 | 200,000 | 199,112 | 2025/12/19 |
| 第31回エス・ティ・ティ・ファイナンス | 0.668 | 200,000 | 200,434 | 2027/6/18 |
| 第81回ホンダファイナンス | 0.389 | 100,000 | 98,503 | 2028/6/20 |
| 第25回SBIホールディングス | 0.6 | 100,000 | 100,000 | 2024/7/26 |
| 第29回SBIホールディングス | 1.0 | 100,000 | 100,005 | 2025/7/22 |
| 第102回トヨタファイナンス | 0.414 | 200,000 | 199,218 | 2027/4/9 |
| 第103回トヨタファイナンス | 0.617 | 200,000 | 198,504 | 2029/4/11 |
| 第42回リコーリース | 0.39 | 100,000 | 98,958 | 2027/6/1 |
| 第44回リコーリース | 0.904 | 100,000 | 99,795 | 2029/5/22 |
| 第17回イオンフィナンシャルサービス | 0.34 | 200,000 | 197,962 | 2026/7/31 |
| 第20回イオンフィナンシャルサービス | 0.59 | 100,000 | 99,713 | 2026/2/24 |
| 第79回アコム | 0.29 | 100,000 | 99,909 | 2025/2/28 |

| 銘 | 柄 | 当 期 末 | | | |
|-----------------------------|---|-------|------------|------------|------------|
| | | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
| 普通社債券 | | % | 千円 | 千円 | |
| 第80回アコム | | 0.28 | 100,000 | 99,347 | 2026/2/26 |
| 第84回アコム | | 0.55 | 100,000 | 99,393 | 2026/12/18 |
| 第57回日立キャピタル | | 0.616 | 100,000 | 100,118 | 2024/12/20 |
| 第219回オリックス | | 0.43 | 100,000 | 99,417 | 2026/11/27 |
| 第1回三井住友ファイナンス&リース (グリーン) | | 0.17 | 100,000 | 99,882 | 2025/3/12 |
| 第35回三井住友ファイナンス&リース | | 0.709 | 100,000 | 99,712 | 2028/2/2 |
| 第32回三菱UFJリース | | 0.695 | 100,000 | 100,097 | 2024/10/25 |
| 第75回三菱UFJリース | | 0.22 | 100,000 | 99,916 | 2025/1/23 |
| 第18回大和証券グループ本社 | | 0.871 | 100,000 | 100,051 | 2024/8/28 |
| 第23回大和証券グループ本社 | | 0.909 | 300,000 | 301,086 | 2025/8/12 |
| 第40回大和証券グループ本社 | | 0.575 | 100,000 | 99,545 | 2026/11/27 |
| 第44回大和証券グループ本社 (グリーン) | | 0.47 | 100,000 | 99,407 | 2027/2/26 |
| 第3回野村ホールディングス | | 0.28 | 100,000 | 98,685 | 2026/9/4 |
| 第27回野村ホールディングス | | 2.107 | 100,000 | 101,605 | 2025/9/24 |
| 第66回三井不動産 | | 0.28 | 100,000 | 99,606 | 2026/3/13 |
| 第37回イオンモール (グリーン) | | 1.107 | 100,000 | 99,618 | 2028/12/14 |
| 第43回日本郵船 | | 0.26 | 100,000 | 99,061 | 2026/7/29 |
| 第25回ソフトバンク | | 0.828 | 200,000 | 199,810 | 2027/5/27 |
| 第6回ファーストリテイリング | | 0.22 | 100,000 | 99,890 | 2025/6/6 |
| 第35回フランス相互信用連合銀行 | | 0.279 | 100,000 | 98,832 | 2026/10/21 |
| 第15回クレディ・アグリコル・エス・エー (2024) | | 1.114 | 200,000 | 199,706 | 2028/1/26 |
| 第12回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付 | | 1.377 | 200,000 | 201,420 | 2027/12/1 |
| 第1回サンタンデール銀行 (2019) | | 0.463 | 200,000 | 199,842 | 2024/12/5 |
| 小 | 計 | | 8,500,000 | 8,472,223 | |
| 合 | 計 | | 13,200,000 | 13,170,581 | |

○投資信託財産の構成

(2024年7月22日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|------------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 千円 13,170,581 | % 99.0 |
| コール・ローン等、その他 | 131,828 | 1.0 |
| 投資信託財産総額 | 13,302,409 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月22日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|-----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 13,302,409,872 |
| コール・ローン等 | 116,748,777 |
| 公社債(評価額) | 13,170,581,400 |
| 未収利息 | 10,746,906 |
| 前払費用 | 4,332,789 |
| (B) 負債 | 2,989,304 |
| 未払解約金 | 2,989,304 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 13,299,420,568 |
| 元本 | 11,857,833,966 |
| 次期繰越損益金 | 1,441,586,602 |
| (D) 受益権総口数 | 11,857,833,966口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 11,216円 |

<注記事項>

- ①期首元本額 1,455,252,112円
 期中追加設定元本額 25,974,054,290円
 期中一部解約元本額 15,571,472,436円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1216円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| ダイナミックアロケーションファンド(ラップ向け) | 6,650,925,827円 |
| 国内債券セレクション(ラップ向け) | 2,918,175,326円 |
| 三菱UFJ 積立ファンド(日本バランス型) | 1,090,018,317円 |
| 三菱UFJ 国内バランス20 | 700,609,636円 |
| ラップ向けダイナミックアロケーションファンド | 191,666,254円 |
| 日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定) | 102,994,644円 |
| アクティブアロケーションファンド(ラップ向け) | 70,301,744円 |
| アドバンスト・バランスⅣ(FOFs用)(適格機関投資家限定) | 51,910,374円 |
| ラップ向けアクティブアロケーションファンド | 45,165,719円 |
| アドバンスト・バランスⅢ(FOFs用)(適格機関投資家限定) | 32,074,630円 |
| 日本短期債券ファンドVA(適格機関投資家限定) | 3,903,074円 |
| 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド | 88,421円 |
| 合計 | 11,857,833,966円 |

【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年7月25日～2024年7月22日)

| 項 目 | 当 期 |
|----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 30,411,510 |
| 受取利息 | 30,469,572 |
| 支払利息 | △ 58,062 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 23,525,650 |
| 売買益 | 16,069,950 |
| 売買損 | △ 39,595,600 |
| (C) 当期損益金(A+B) | 6,885,860 |
| (D) 前期繰越損益金 | 178,109,264 |
| (E) 追加信託差損益金 | 3,151,984,223 |
| (F) 解約差損益金 | △1,895,392,745 |
| (G) 計(C+D+E+F) | 1,441,586,602 |
| 次期繰越損益金(G) | 1,441,586,602 |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。